

第9弾

三田学園の生徒さんのおすすめ本を読んでみた

「イカロスの誕生日」

F「今回はコラボしている三田学園の生徒さんイチオシの本を紹介してもらったので、それを読んでみました」

A「表紙はアニメ調で、まるでライトノベルみたいなのですが、中身は……」

M「二段組みです!!!」

F「はい、軽い気持ちで開いて眩暈がいたしました。文字がぎゅー☆」

A「でも、意外や意外、最初のインパクトに比べてずいぶん読みやすい本でした。主人公が学生で、何が起きても明るく立ち向かっていく心の強い子です。さらっと読めました」

M「これ、なんだか随所で時代を感じるなあ……と思ってたら、2000年に刊行された作品の加筆修正版なのよ。OHPとか、今の子知らないんじゃないの??」

A&F「「……??」」

M「ほら——。そのボカーンとした顔——。しらない?」

F「おーえいちびーってなんですか?」

M「ここに書いてあるでしょ! (59ページを開き) オーバーヘッドプロジェクター!」

A「ええと、今のプロジェクター、とは、違うんですか?」

M「プロジェクターなんだけどね!? こう、透明なフィルムがあって…」

・・・しばしM先輩によるOHP説明タイム・・・

F「あ〜〜!! これ小学校のときに見たあ〜! なつかし〜!!」

M「ねっ!? この本、なかなか懐かしい時代のネタがあるのよ!」

A「この作品の冒頭で『2000年12月』って書いてありますから懐かしさは納得ですねー。ただ舞台は過去ですけど、ストーリーは近未来っぽいSFです」

F「翼をもつ種族『イカロス』が、自由を求めて人間と戦う、というのが主なストーリーでしょうか。本当にライトな読み心地で二段組みが全く気にならなかったのがびっくりでした」

M「最近のラノベにありがちなグロいシーンをとことん書き込む、というのがないところは好感が持てたわ。戦ってはいるけど血なまぐさがやりすぎてなくて、ちょうどいい感じ」

A「あと、翼があるというだけで空が自由に飛べるわけじゃないっていうのが面白かったですよね。電線とか天候とか……」

M「そうね、ちょっと無理がある設定とか、納得しづらい点もあるにはあるんだけどそこはリアルだったわねー。主人公が学生だし、ヤングたちは読みやすいんじゃないかな」

F「気になった人は読んでみてくださいね」

A「感想もぜひポストに投稿してください!」



2010年刊

小川一水著 毎日新聞社 Fオガ



Volume.13

YA通信

H28.06.01.

「なりたい」って聞いたら「早く人間になりたいい!」だよな♪…昭和?

<http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

〇〇になりたい!



大きくなったら何になりたいと思ってた?

「かめんらいだー」とか言っていた子も、YA世代になると堅実に「公務員」とか言っちゃってユメがないっつらもー。恥ずかしがってないで、なりたい自分をちやあんと描かないと、なれるもんもなれませんことよ。

しやふ

車夫

いとう みく 著 小峰書店
F/イト 2015年刊



車夫っていうのは観光地で人力車を引くお仕事のこと。表紙を飾っているイケメン車夫の吉瀬走は、ある事情により高校を中退して車夫になりました。(車夫になりたくて中退したワケではない。ここ大事。)なりたくてなった仕事じゃないけれど、お客さんを乗せて風を切って走る車夫という仕事に、走は真摯に取り組みます。そんな走と走にかかわった人たちの話が7つ入っています。ちなみに人力車は「尾行にもっとも向かない乗り物」だそう。ナルホド。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。

本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。(もちろん、大人の方もお読みいただけます)

2か月に1度、年6回発行予定です。

皆様が手に取りたくなる誌面にしてまいります。ご期待ください。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

今月のテーマは「休日」！ 祝日がなく、休日の少ない6月ですが、本を読んで一足早い夏休みを体験してみませんか？

「空色ヒッチハイカー」橋本紡：著 新潮社 2006年刊



18歳の夏休みに彰二は受験勉強を放り出して、川崎から唐津までという果てしない7日間のドライブ旅行に出た。兄との約束を果たすために。最初は優秀な人間である彰二に共感することができませんでした。しかし、「誰かがいなければ努力できない人間」であり、中途半端な優越感を感じる彰二を見ていくうちに、自分を重ねてしまう場面もありました。誰だって上手くいかないときは自分を中途半端に感じてしまうことがある。「分かるよ！彰二君！橋本さん！」と心の中で叫ぶ時があったりなかったり。そんなローティーンからハイティーンの「あるある」を橋本さんは軽やかな文章で表現しています。

F ハシ



ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

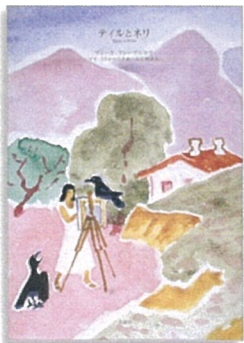


リサイクル予備軍

～なぜ君は借りてもらえないのか～

ティルとネリ ヴェーラ・フレーブニコワ 著 マイ・ミウーリチ 絵

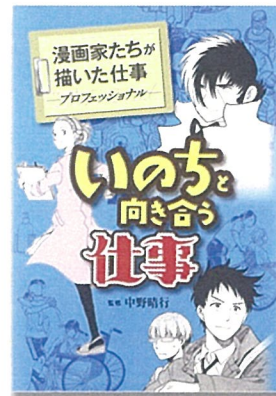
北川和美 訳 未知谷 2003年刊



983/フレ

お話は、少年マイ君が拾った2羽のカラスのヒナとのひと夏の物語。クリミアの美しい風景の挿絵が素敵です。しかし何でしょう、この舌を噛みそうな著者名と挿絵画家名は？と思ったら、ロシアを代表する有名な画家さんとそのお母様が文を書いていた。つまり、少年マイ君とは挿絵を描いているミウーリチさんなんです。母の愛です。そんな背景に気が付かれることもなく、ひっそり棚の隅で数年……。当館にもミウーリチさんの可愛い絵本が数冊ありますので、そちらも探してみてくださいねー。

新着本Pick Up



726.1/16

漫画家たちが描いた仕事
-プロフェッショナル- 【全7巻】
中野晴行監修 金の星社 2016年刊

医師なら『ブラックジャック』、山岳救助員なら『岳』など、お仕事マンガで職業を紹介するちょっと変わった職業案内本です。マンガは職業を考えるきっかけになりますよね。あなたの興味のある分野のものを手に取ってみてください。巻末の「職業×漫画読書ガイド」も必見です。これになりたい！と思えるものが見つかるかも。

YA新着本

請求記号	タイトル	作者名
471/16	植物はなぜ動かないのか	稲垣 栄洋
726.1/16	くるねこ17	くるねこ大和
F/イチ	小やぎのかんむり	市川 朔久子
F/キタ	先生、大事なものが盗まれました	北山 猛邦

執筆者の腕がひたすらに試される 名作本コラム 『日本の古典をよむシリーズ』

918 シヨ 小学館 全20冊・全冊完結

今回ぜひおすすめしたいのがこちらのシリーズ。売り文句は『読みたいところ 有名場面をセレクトした新シリーズ』。本当は読みたくないけどテストで出るから知っておかないと、なんて世知辛い事情をお持ちのヤングたちにぴったりじゃありませんか！ まず最初におおまかなあらすじがコンパクトに書かれており、その後有名な場面の原文・現代語訳が並べられた作り。この現代語訳が今風でわかりやすく、普通の小説を読む感覚で読み進められるんです。男顔負けの強さを誇る美しい女武者、失敗&騒動だらけの愉快的旅人二人組、毛虫が大好きなお姫様などなど、どれもこれも日本を代表する濃ゆーいキャラ&ストーリーばかり♪
テスト対策として読み始めたけど、途中から古典そのものに夢中になっちゃう……！ という、罪作りなシリーズです。

